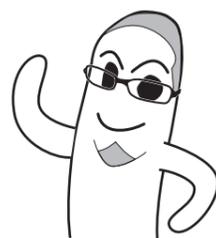


# はにわ通信

No.191 平成23(2011)年2月号



松坂城の面影を  
見つけにかけませんか

## 【1枚の写真～松坂城にあった「お堀」の記憶～】

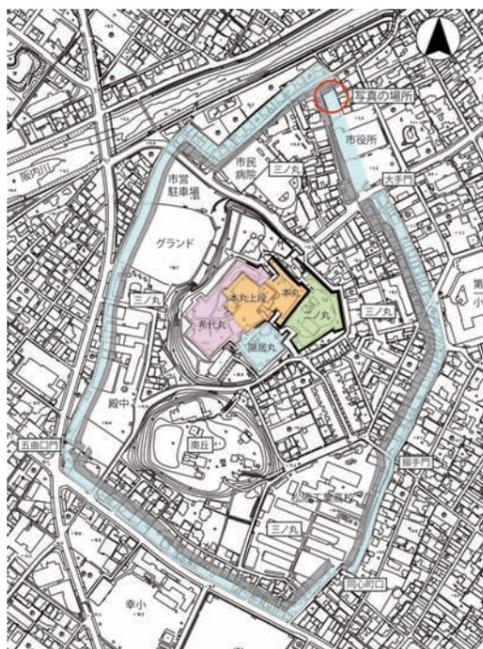
松坂城に「お堀」があったってご存知ですか？明治時代の初め頃まで、お城の周りには、総延長約2100mもある立派な「お堀」、その内側には堀を掘った土を積んだ土手（土塁）がめぐらされていました。現在は宅地化が進んだため、ほとんどわかりませんが、松阪工業高校の東側から市役所前を流れる神道川や、殿町中学校から市営グラウンドの西側を流れる水路がかつての「お堀」の名残です。

今回紹介する写真は、松坂城の「お堀」の姿を伝える大変貴重なもので、満々と水をたたえる「お堀」と、その際に建つ建物が撮影されています。撮影された場所は、これまでよく分かっていませんでしたが、つい最近になって市役所第1別棟が建っている場所であることを知りました。この場所は、昭和20年代まで「お堀」が残っており、蓮が植えられたり、水田として使われたりしていたと、当時の様子を良く知る方から教えていただいたのです。現在、市役所のお城側の土地が一段高くなっているのは、「お堀」があった時の名残です。お城の正面にあっていたこの部分の「お堀」の幅は他よりも広く、30mほどあったそうです。

たった1枚の写真ですが、消えた松坂城の堀を知る上で大変貴重な資料です。そういう意味では、写真といえども第一級の文化財といえるでしょう。（担当）



市役所第一別棟付近の「お堀」(昭和20年代)



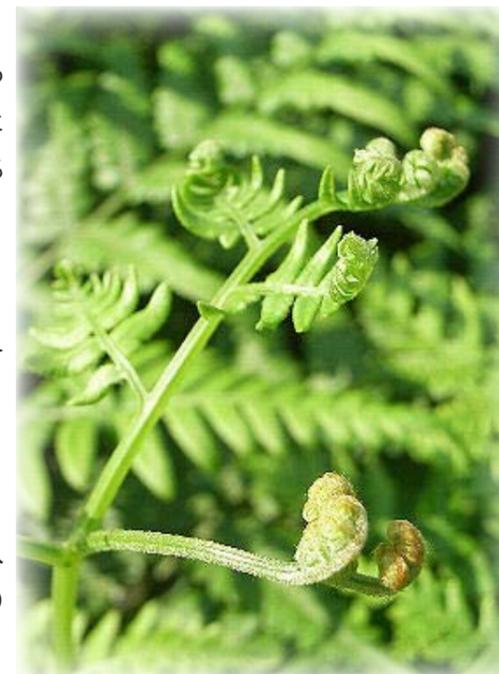
松坂城の周囲に巡らされた堀・土塁の位置

## 【早蕨の萌えるころ】

さわらびも  
いわ たるみ  
石走る 垂水の上の 早蕨の もえいづる春に なりにけるかも  
しきのみこ  
志貴皇子

岩にほとばしる滝のほとりの蕨が、芽をふくらませる春になったのだなあ。「石走る」は水が岩石にあたってしぶきをあげるようす、「垂水の上」は滝のほとりの意で、「垂水の上の早蕨の」とたたみかける勢いのあるしらべが、春のいのちのよろこびを歌いあげます。

蕨は、文化財センターと道をへだて流れる阪内川のつつみをはじめ、山、野、谷、いたるところに見られるシダ植物で萌えてて間もないものを「さわらび」、「したわらび」、「かぎわらび」などと呼びます。やがて大きなび広がる葉の生命力を、小さな芽のうちにつめこんだような早蕨は、古人にとって春のおとずれを告げる喜ばしい使いでもありました。



\*志貴皇子 奈良時代初期の万葉歌人  
(所長)

### 【文化財センター はにわ館・ギャラリー 2月の催し物予定】

【はにわ館】 入館料100円(18歳以下無料。) 月曜日、祝日の翌日は休館です。

- 第1展示室 ・常設展「宝塚古墳の謎」
- 第2展示室 ・後期企画展「まつさかの歴史文化風土を考える」～3/27(日)

【ギャラリー】 入場無料

- 第1ギャラリー ・2010 アートフォーラム三重松阪集中発表7人展 2/6(日)～3/6(日)
- 第2ギャラリー ・陶嬉の会 作陶展 ～2/6(日) 10:00～17:00 \*6日は16:00まで
- 第3ギャラリー ・ミュージアム・トークみえものがたり『仏像鑑賞のすすめ』 2/5(土) 13:30～15:00  
講師：藤田直信(歴史民俗資料館) 申込み不要
- 第2・3ギャラリー ・南勢地区高等学校美術展 2/12(土)～20(日) \*20日は16:00まで

開館時間：9時から17時(入館は16時30分まで)

【発行】松阪市文化財センター 【電話】0598-26-7330 【サイト】<http://www.city.matsusaka.mie.jp/>



バーコード読み取り  
(文化財センター情報)